

前期試験再現（2014年度）

1. デカルトに関して以下の問いに答えよ

(1)デカルトはすべての事物に対し懐疑の姿勢をみせたが、その理由となったものをすべて書き出せ

(2)絶対的な疑えないものをデカルトは〇〇の点と表現した。この空欄に入る科学者の名前をこたえよ

(3)デカルトにとって絶対に疑えないものとはなにか答えよ

2. 以下の文章の空欄を埋めよ

神の存在証明には様々なものがある。哲学者（1）は神を「それより大きいものが考えられないもの」と定義した。これにより彼は神の存在を証明したがこの証明方法は「（2）的証明」と呼ばれる。古代の哲学者（3）や中世の哲学者（4）は物事の根本原理となるものが神であり、存在すると考えた。これは「（5）的証明」と呼ばれている。そしてデカルトは神を「（6）」と定義しその存在を証明しようとした。

3. ロックの人間知性論の文章の以下の空欄を答えよ（順不同）

「人間の（1）と（2）と（3）を探求し、あわせて信念や意見や同意の根拠と程度を探求する」

4. ロックは直接知覚している物体の色や形さえも観念だという。それはなぜかできるだけわかりやすく説明せよ

5. 以下の文章の空欄を埋めよ

カントの認識論は以下のようなものである。（1）が我々の心を触発しそれを（2）の能力により（3）として受け取り、さらに（4）によって概念的に把握する。さらには（5）の力によって認識の幅を広げていく。このような思想は彼の主著（6）に書かれている。